

数学科の笹谷です. 今まで数多くの良問を出題してきた「大阪市立大」ですが、「市立大」としての入試最後の年に、一問でたくさんのことが学べる良問がまた出題されました. 今回は、それを紹介したいと思います. 数学 III の積分法の知識が必要です. 手を動かして考えてみてください.

※ 2022年から「大阪市立大」と「大阪府立大」は、「大阪公立大」として生まれ変わる予定となっています.

問題

xy 平面上の原点 O を通る直線 l を考える. l 上の 2 点 P と Q は以下の 3 条件を満たすとする.

- (1) $2 \triangle P$, Q O x 座標, y 座標はすべて 0 以上である.
- (2) 線分 OP と線分 OQ の長さの積は1である.
- (3) 点 P と直線 x=1 との距離は、線分 OP の長さに等しい.

x軸の正の部分と線分 \mathbf{OQ} のなす角を θ とする. 次の問いに答えよ.

問1 線分 OQ の長さを θ を用いて表せ.

問 2 θ が 0 から $\frac{\pi}{2}$ まで変化するときに、線分 OP が通過する部分の面積を S、線分 OQ が 通過する部分の面積を T とする、S と T の値をそれぞれ求めよ、